旭化成「最強の知財戦略」：無形資産を企業価値へ変換する革新メカニズム

経営と直結する「二層体制」と戦略的IPL

経営企画直下の「知財インテリジェンス室」

M&A・新規事業投資判断

社長直轄の役員下に重かれ、M&Aや新規事業の投資判断を高度化する提言を行う。

投資判断の羅針盤「IPランドスケープ」

知財と市場データを統合分析し、数百億円規模の設備投資や提携の客観的エビデンスを提供。

現場を守る「知的財産部」との連携

権利化・クリアランス

権利化とクリアランスを担う実務部隊と連携し、事業の競争優位性を多面的に保護する。

無形資産の収益化（TBC）と生成AIによる加速

アセットライトな「TBCモデル」でROIC 9%超へ

高収益
最小限の資本

自社製造に固執せず、知財やノウハウをパッケージ化して他社へ提供し、最小限の資本で高収益を得る。

生成AI実装による用途探索の40%短縮

6,000件以上
新規用途候補の自動抽出

従来比60%削減
用途候補の選別時間

6,000件以上の用途候補をAIが瞬時に考案し、新規市場開拓のリードタイムを劇的に圧縮。

月間2,157時間の業務削減

Copilot等の導入で汎用業務を効率化し、創出した時間を高度な戦略分析に充当。